

この広報紙は赤い羽根共同募金と香典返し等の寄付金で発行しています。

おおかね



ふくし
広報

No. 125
令和4年8月1日

ふくし協会のよび

●発行者 社会福祉法人 大川市社会福祉協議会 (大川市大字上巻405-1 ☎86-6556)

ふだんのくらしを しあわせに
～ささえあいのまち、大川市をめざして～



株式会社セブン-イレブン・ジャパン様より、社会貢献活動の一環として、店舗閉店時の残商品について、生活に困難を抱えた世帯への支援や地域福祉の推進を図るために活用していただきたいと申し出があり、令和4年6月13日、大川市社会福祉協議会へ食品19箱・雑貨18箱の寄贈がありました。

その後、同月17日に大川市社会福祉法人連絡会会員や地域の支援団体にて、養護老人ホーム明光園の施設をお借りして「おゆずり会」を開催し、受け入れを希望される法人や団体へお渡することができました。今後の地域福祉活動へ有効活用していただけることを願っています。

また、今後本会では、私たちが生活に困っておられる方と支援者の「架け橋」となり、食糧支援等の取り組みを積極的に推進していきたいと考えています。

市民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

令和3年度 主な事業報告 ~皆様のご理解とご協力ありがとうございました~

高齢者福祉事業

- ふれあい訪問活動（要支援高齢者見守り事業）
- 「敬老の日」に係る事業助成
- 介護予防事業（ゆうゆう会、いきいき元気プロジェクト）
- 大川市老人福祉センター事業（市指定管理事業）
- 生活支援バス運行（愛のりバス）
- 生活支援体制整備事業
- おでかけサポート団体支援事業 等

児童・青少年福祉活動事業

- 学童保育所助成
- 大川市保育協会助成
- 市内小・中・高等学校への助成
- 福祉教育読本配布（市内小学5年生対象）
- 福祉作文募集（市内小学5年生対象）
- 福祉教育事業

子育て支援事業

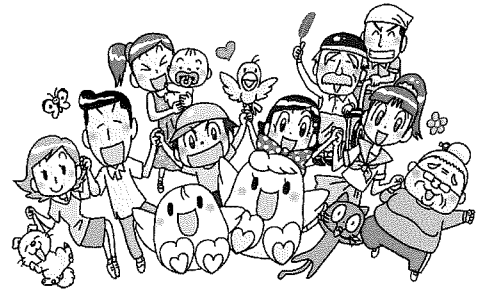
- ファミリー・サポート・センター事業
- 子育てアシスト訪問事業
- 託児スタッフ派遣事業
- 子育て用品リユース事業

赤い羽根共同募金事業

- 共同募金推進
- 歳末たすけあい運動
- 赤い羽根共同募金自動販売機の設置推進

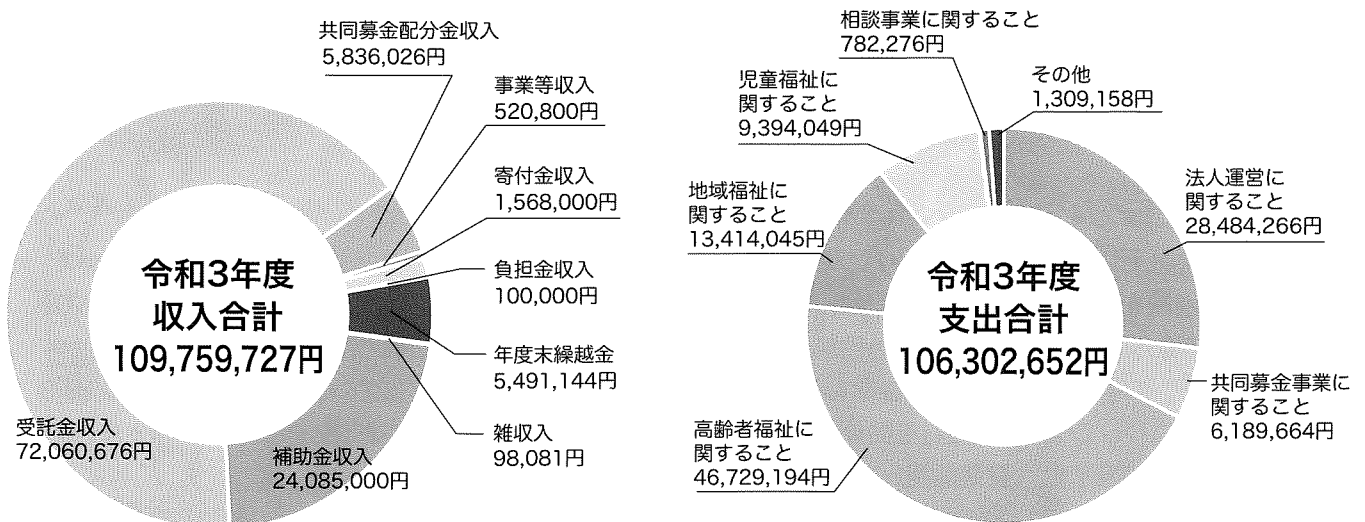
その他

- 福祉・健康のつどい（大川市老人クラブ共催）
- ふくし川柳の募集
- ふれあい映画上映会（大川市身障協会後援）
- おおかわっ子映画上映会（大川市母子会共催）
- ボランティア活動支援事業
- 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）
- 善意銀行運営 等



※この他にも様々な事業を行っています。詳しくはお問い合わせください。

令和3年度 大川市社会福祉協議会収支決算概要



収入額 109,759,727円

支出額 106,302,652円 差額 3,457,075円（令和4年度事業へ繰越）

令和4年度 事業計画 ～皆様が安心して暮らせる街づくりを目指します～

～基本方針～

本会は、「第2次大川市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である「みんなで支え合う笑顔あふれる地域共生社会大川」の実現に向けて、また、国際的な目標であるSDGsの目指す「誰一人取り残さない」社会を目指すために、地域住民や関係機関と連携し、地域福祉に繋がる事業を積極的に推進していきます。

重点目標と取り組み

「地域の支えあい、見守り活動」事業推進

高齢者の支えあい・居場所づくり・外出支援・多世代交流事業を、大川市老人クラブ連合会、大川市民生委員児童委員協議会、市内社会福祉法人等の社会資源も活用し、積極的に「地域の支えあい、見守り活動」事業を推進します。

地域福祉・重層的支援体制整備事業の推進

地域住民や関係機関と協力し、住民から必要とされ、社会福祉協議会の存在意義を高められる地域福祉につながる事業を推進していきます。
また、重層的支援体制整備事業について、今後市が作成する実施計画において、社会福祉協議会の役割を明確化し、本事業実施に向けて市を始めとした関係機関と連携し、様々な課題や悩みを抱える住民の方々への支援体制を構築していきます。

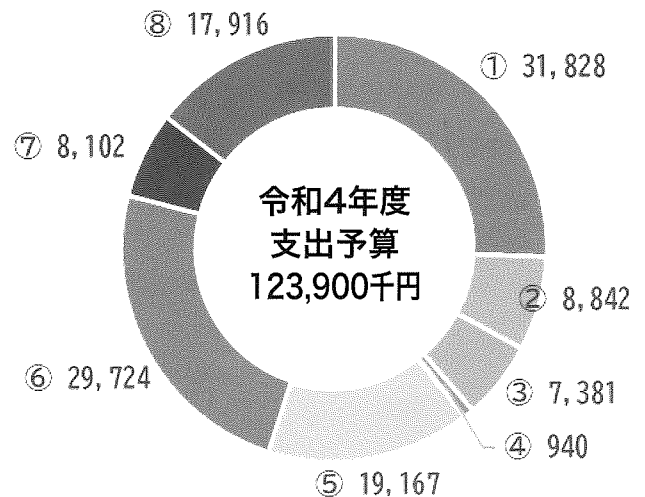
ボランティアセンターの運営体制構築

災害時は勿論、平常時においてもボランティアに対するニーズが高揚している状況であるため、ボランティアコーディネーターの配置を行い、地域住民のニーズを拾い上げ、ボランティア活動に必要な研修を実施し、住民が気軽に相談できるボランティアセンターの運営体制を構築していきます。
また、ボランティア活動に関する様々な情報提供や啓発を行い、地域住民の興味を引き付け、参画を促していきます。

令和4年度 大川市社会福祉協議会予算概要

(単位：千円)

拠点区分		金額	
①	法人運営事業	31,828	
②	善意銀行運営事業	8,842	
③	共同募金配分金事業	高齢者福祉活動事業	2,356
		障がい児・者福祉活動事業	360
		児童・青少年福祉活動事業	1,586
		ひとり親家庭福祉活動事業	279
		福祉育成・援助活動事業	2,100
		歳末たすけあい配分金事業	700
④	生活福祉資金貸付事業	940	
⑤	生活支援バス運行事業	19,167	
⑥	高齢者支援事業	29,724	
⑦	子育て支援事業	8,102	
⑧	地域生活支援事業	17,916	
合計		123,900	



愛のともしび（香典返し・一般寄付） （順不同・敬称省略）

寄 付 者		住 所	寄 付 者		住 所
龍 律 子	亡夫 洋 治	新 田	酒見 ミチ子	亡夫 一 彦	
倉重 敏 光	亡父 守		長野 富 幸	亡父 重 富	九 網
大淵 かずよ	亡夫 喜久雄	鬼古賀	川野 暢 子 公 嗣	亡母 キミ子	中古賀
田中 忠 卓	亡祖父 忠之				
中村 スナ子	亡夫 政 信	郷 原	石橋 慧 行	亡妻 朝 子	向 島
西 澄 子	亡夫 義 仲		松島 種 雄	亡妻 カズエ	三 丸
中村 正 彦	亡父 研 一	一 木	池田 裕 子	亡母 梅崎シヅエ	福岡市
大淵 金 道	亡母 ミチエ	鬼古賀	梶島 元	亡母 シヅ子	一 木
森 英 子	亡父 浩	東京都	一般寄付		
東 八千代	亡夫 顯		古賀 文敏		
境 キヨ子	亡夫 賢 一	酒 見	常清寺		

皆様方からの温かい寄付は地域福祉事業等に役立たせていただきます。
ありがとうございました。
(令和4年1月1日より令和4年6月30日まで)

赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございます

令和4年1月14日以降に受け入れた募金は、令和4年度の実績として取り扱わせていただきます。

・法人募金(敬称略)

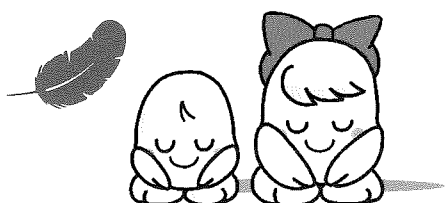
【大野島校区】

(有)永島建設

※募金協力事業所名につきましては、領収書に基づいて記載させていただいています。

今年度も10月1日から赤い羽根共同募金の運動期間が始まります。

市民の皆様を始めとし企業、有志の皆様、今年度も赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします。



大川市社会福祉協議会の 事務所が移転いたしました。

令和4年4月1日から、本会事務所を大川市健康福祉センター内に移転いたしました。

それに伴いバスの発着場所や書類の提出先等様々なものが変更となり、市民の皆様にはお手数をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。

センター内には市民の方が使えるマッサージチェアや休憩スペース、囲碁・将棋等をそろえておりますので、ぜひお立ち寄りください。

大川市社会福祉協議会事務局

住所: 大川市大字上巻405-1 (健康福祉センター内)
電話番号: 86-6556

大川市健康福祉センター

開館日: 月~土曜日 9:00~17:00

※祝日、年末年始を除く

電話番号: 86-3400

地域の高齢者の方に年賀状を送ろう！

歳末たすけあい配分金事業



年賀状イラスト 大募集 2023



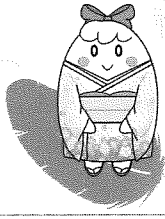
コロナ禍で外出し人とのふれあいの機会が減ったひとり暮らし高齢者へあたたかい思いをのせた年賀状を送付し、孤立化を防止することを目的にイラスト等を募集します。

募集締切 9月30日(金)

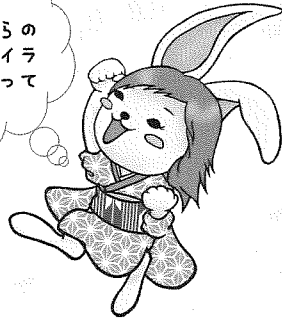
応募された作品の中から各部門2点程度選定し、年賀状を作成します。年賀状イラスト等に採用された方には景品を贈呈いたします。

◆部門◆

- ①干支(うさぎ)のイラスト部門
 - ②メッセージ部門
 - ③自由部門
- ※上記3部門の中から1部門を選んでください。



みんなからの心温まるイラストを待っています！



<問い合わせ先>

社会福祉法人 大川市社会福祉協議会
(福岡県共同募金会 大川市支会)
〒831-0031 大川市大字上巻405-1
TEL 86-6556 / FAX 86-6485
E-mail: syakyou@kumin.ne.jp

今年も年賀状イラストを募集します！！

昨年末、高齢者の孤立防止を目的に、学童より年賀状イラストを募集し、そのイラストを使った年賀状を市内のひとり暮らし高齢者へ送付いたしました。年賀状が届いた高齢者の方々から多くのお礼の言葉を頂き、職員一同この事業へ取り組むことの意味を再確認させられました。

そこで、今年度も年賀状イラストを市内学童と市内園児より募集し、ひとり暮らし高齢者へ送付することで地域内での繋がりを持ち続けられる機会を作りたいと考えています。

ぜひみなさんの心温まる、かわいいイラストをお寄せください。たくさんのご応募お待ちしております。尚、採用された方には、景品を贈呈いたします。

応募用紙も準備しておりますので、詳しくは本会までお問い合わせください。

(問)大川市社会福祉協議会 86-6556

子育てをお手伝いするファミリー・サポート・センターおおかわ

モッカランドにファミリー・サポート・センターが移転してもうすぐ1年になります。

その間、会員の登録や活動依頼も増える等多くの方にご利用いただきありがとうございます。

現在「大川子育て応援談」を開講しており、子育てに関心のある方が「子育て」について学んでおり、全て受講された方の中には、みまもり会員として活動される方もいらっしゃいます。

また、毎月モッカランド内にて「おゆずり会」を行っておりますので、ぜひお立ち寄りください。

(問)ファミリー・サポート・センターおおかわ 86-6588

大川市子育て支援総合施設 モッカランド内

令和4年度子育て応援談 講座内容

6月: 大川市の子育て支援について、救急救命、
子どもの栄養と食生活

8月: いろいろな子どもとの関わり方、保育の心

9月: 小児看護の基礎知識、子どもの発達と病気

10月: 心の発達と子どもの人権

11月: 子どもの遊び、

ファミリー・サポート・センターの基礎知識





～生活支援体制整備事業～

ささえあい通信



今回は、田口校区で活動されています「ドリームたぐち」のご紹介です。

ドリームたぐちでは、月2回、田口校区の方ならどなたでも無料で参加ができる多世代交流の場として、「いこいの場」の開催、また地域のちょっとした困りごとの手伝いをされる「ちょっとかせする隊」を結成。主に田口地区で有償ボランティアの活躍をされています。代表の酒見さんに活動の醍醐味などを伺ってみました。

ー ドリームたぐちを立ち上げようと思ったきっかけは？



「ちょっとかせする隊」
活動風景

酒見代表：市との居場所づくりの話し合いをする中で、いつまでたっても進捗せずに（笑）そんなら「私が音頭をとって何かやってみるか！」と思い、やってみることにしました。最初は居場所だけのつもりが、より地域の方に喜んでもらおうとアンケートを取ったところ、たくさんの課題があることに気づき、困ったことに手が差し伸べられ、何歳になっても夢を持ち続けられる田口校区にしたいと「ちょっとかせする隊」も結成しました。

ー 活動をする上で何か気を付けていることはありますか？



ドリームたぐち代表
酒見 精司 さん

酒見代表：これはむずかしい、無理だ、出来ないと思ったことは最初からやらない。これが大切。出来る人にやってもらう。無理をすると気持ちが長く続かない。一緒に活動していただいている方にも伝えていますが、「できる人ができるしこ！」です。自分ができることをやってもらう。自分ができる事、出来る範囲が誰かの力になり、喜んでいただくという事が大事ですね。あとは「楽しんでやる！」これに尽きます。

ー 最後に酒見代表にとって、活動の醍醐味はどのようなことですか？

酒見代表：好きな事をするなども大切な生きがいの一つですが、誰かのお役に立てる、感謝されるという事は生きていく上で何より自分自身の存在価値につながると感じています。皆さんも「できる人ができるしこ！」でお互いさまの地域にしませんか？

～地域で行っている独自の取り組みを教えてください～

2025年には、いわゆる団塊の世代の皆さんが75歳以上の後期高齢者になられます。この2025年問題により、社会保障費が増大し、国家財政が圧迫され、現役世代への負担はますます大きくなります。また、今まで受けられた公的なサービスが受けられなくなる可能性も出てくると言われています。

そこで今後重要になってくるのが、地域での支え合いです。大川市社会福祉協議会では市内の公的なサービス以外で地域住民による活動や集いの場、社会貢献活動等を「地域の宝物」として捉え、支え合いの暮らしのヒントとしてご紹介したいと思えます。どんな些細な活動でも結構です。例えば、以下のようなことを教えていただくと幸いです！

- ☆地域の仲間と定期的に集まってグラウンドゴルフをしている。
- ☆数人で集まってウォーキングをしている。
- ☆自分たちの地域でやっている取り組みを、もっと多くの方に知ってほしい。
- ☆少人数で集まって健康づくりや茶話会等をしているけど、もっと仲間を増やしたい。

このような情報がございましたら本会（86-6556）までご連絡下さい。

職員が取材に伺わせていただきます。

～市内小学校にて福祉体験学習を行っています～

大川小学校にて福祉体験学習を実施

大川小学校5年生に福祉体験学習を実施しました。車イス体験、高齢者疑似体験、手話体験を行い、それぞれの立場でどのような困りごとがあるのか、どのような手助けがあれば助かるのかを考えてもらい、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

生徒さんたちからも「困っている人を見かけたら声をかけたい。」などの意見もあり、福祉の輪が広がっているな～と実感出来ました。

大川小学校の皆様、ありがとうございました！



福祉体験学習のご案内

私たちの地域で、みんなが幸せに暮らしていくためには何が必要なのか。他人の生活課題を「他人事」とするのではなく、「自分事」として身近な福祉課題として意識してもらおうきっかけを作り、そのことについてお友達や先生、保護者等と共に考え、実際に行動するための力を育むことを目的とし、主に市内小学校を対象に実施しています。

～ご利用までの流れ～

STEP① 学校内で授業計画の検討

何を学んで欲しい、どんな体験をして欲しい等の検討。

※内容によってはご要望にお応えできない場合もございます。予めご了承下さい。

STEP② 大川市社協へ相談

ご担当の先生と打ち合わせをさせていただきます。授業時間、学習内容や流れ等を検討します。(相談は、福祉学習実施の原則1ヶ月前までとさせていただきます。)

新型コロナウイルス感染症の影響により 収入が減少された方へ

本会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等により生活資金でお困りの方に対し、特例貸付を実施しております。

(受付が令和4年8月末迄延長となりました)

【緊急小口資金】

緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯に対し、生活費の貸付を実施
(上限20万円迄)

【総合支援資金】

日常生活の維持が困難となった世帯に対し、原則3ヵ月以内の生活費の貸付を実施

(貸付限度額は世帯人数等により異なります)

- 実施期間は変更になる場合があります。
- 貸付には審査があります。
- 相談は、事前予約制とさせていただきます。詳細は下記までお問い合わせください。

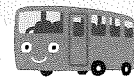
(問) 大川市社会福祉協議会：86-6556

高齢者・障がい者の「足」 おおかわ愛のりバス

4月から事務所移転に伴い大幅なコース変更、バス停の増設で運行中!!

不明な点ございましたらお問い合わせ下さい。

運転手からのお願い



- ※降りる前にチャイムを鳴らして下さい。
- ※車内での感染予防として

- ・マスクの着用
- ・おしゃべりをひかえましょう

～よろしくお願ひします～



ゆうゆう会で元気！

～住み慣れた地域に安心して暮らしたい～

本年度より社会福祉協議会では、大川市からの委託を受けて「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」を実施しています。また、介護予防事業(ゆうゆう会)の職員として、理学療法士の専門職も加わりました。

モデル地区(23地区)の健康状態を把握し医療の専門職がフレイル予防に取り組み、いつまでも住み慣れた地域で元気に、暮らせるように活動を行っています。



外開友和会の皆様と
フレイル予防
『1, 2, 3, 4～』



ご自宅でできるフレイル予防の一環として「ストレッチ編」と「筋力アップ編」の2種類のフレイル予防体操を考案いたしました。今回紹介できなかった分については本会HPにて公開しておりますので、ぜひHPをご覧くださいになってご自宅で皆さんも続けてみませんか？

ストレッチ編

背中伸ばし(5回)

- ①手のひらを上に向け、背中を伸ばしながらゆっくり万歳します。
- ②ゆっくり呼吸をしながら両手を上げ下ろします。

肩の上げ下ろし(10回)

- ①両肩が耳につくように上げます。
- ②肩を下にストンと落とします。

身体ひねり(左右3回)

- ①両手を身体の前で肘を伸ばして組みます。
- ②顔は正面を向けたまま身体をゆっくり左右に捻ります。

筋力アップ編

太もも上げ(左右20回ずつ)

- ①膝を曲げたまま左足を續けて上げ下ろしをします。
- ②反対側の足も同様に行います。

膝伸ばし(左右20回ずつ)

- ①つま先を天井に向けたまま膝を伸ばして下ろします。
- ②反対側の足も同様に行います。

ポイント! 背筋を伸ばして行いましょう。